

DATA WATCH

被災地の雇用はマッチングが課題

生活研究部門 主任研究員 松浦 民恵
matsuura@nli-research.co.jp

多くの尊い命と平穏な生活が奪われた東日本大震災からもうすぐ1年。特例措置として延長された失業手当も2012年1月から期限切れを迎え始め、就業に向けた動きが一層活発化してくるなか、本稿では、より被害の大きかった被災3県に焦点を当て、雇用の現状や課題を、公共職業安定所（ハローワーク）に関するデータから紐解いてみたい。

まず、震災後の有効求人倍率（有効求職者数に対する有効求人数の割合（季節調整値）。新規学卒者を除き、パートを含む）をみると、引き続き厳しい雇用環境下にあるものの、被災3県のそれは2011年4月を底に上昇傾向にあり、直近2011年11月には、宮城県と福島県が全国を上回っている（全国が0.69倍、岩手県が0.67倍、宮城県が0.79倍、福島県が0.71倍）。また、同月の就職率（求職者に対する就職件数の割合）をみても、3県とも全国の水準を若干上回っており、被災地に対する就業支援が一定の効果をあげている様子がうかがえる〔図表-1〕。ただし、失業手当の期限切れにともなって急増が見込まれる新規求職を、今後どの程度就職に結びつけられるか、むしろ2012年以降の就職率を引き続き注視していく必要がある。

一方、充足率（求人数に対する充足された求人の割合）の対前年同月差をみると、宮城県や福島県の充足率が全国よりも一段と低下しており、むしろ人手不足が深刻になっている〔図表-1〕。さらに、2011年11月時点で被災3県の新規求人数（対前年同月比）を産業別にみると、ほぼ全ての産業でプラスになっており、なかでも建設業（岩手県+76.4%、宮城県+154.0%、福島県+197.4%）やサービス業（同+156.0%、+61.8%、+90.6%）の新規求人数が大きく増加している。

被災地の雇用に関しては、就業地域や職種の深刻なミスマッチが指摘されているが、まずは既存の求職と今後の新規求職を、求人にもマッチングするための支援が引き続き求められよう。それでもマッチングがどうしても難しい場合は、次の課題として、求人は県外の人材供給等を、求職はビジネスチャンスの創出を通じた県内への企業誘致等を通じて、効果的なマッチングを図っていく必要がある。

〔図表-1〕被災3県の求人・求職および充足・就職の状況（2011年）

	全国						岩手県									
	新規求人数(件)	前年同月比(%)	充足率(%)	前年同月差(ポイント)	新規求職数(件)	前年同月比(%)	就職率(%)	前年同月差(ポイント)	新規求人数(件)	前年同月比(%)	充足率(%)	前年同月差(ポイント)	新規求職数(件)	前年同月比(%)	就職率(%)	前年同月差(ポイント)
3月	664,022	10.5	32.0	▲4.1	718,223	▲7.5	29.6	1.6	5,709	▲29.3	-	-	7,785	▲17.0	42.7	-
4月	619,556	12.2	32.7	▲4.5	873,881	0.9	23.2	▲0.5	7,987	39.9	-	-	14,532	86.7	24.6	-
5月	584,345	17.3	31.6	▲4.0	677,198	6.5	27.3	▲0.6	9,982	25.0	-	-	10,800	▲25.7	38.2	-
6月	639,608	12.6	30.6	▲3.3	635,265	▲2.2	30.8	1.1	8,969	▲10.1	-	-	9,911	▲8.2	47.6	-
7月	648,582	12.2	27.3	▲4.2	549,012	▲7.7	32.3	1.7	9,847	9.8	-	-	9,424	▲4.9	42.0	-
8月	679,635	18.4	25.7	▲3.5	603,064	2.9	29.0	0.4	9,464	▲3.9	-	-	9,154	▲2.9	39.8	-
9月	701,898	12.5	27.2	▲3.4	585,709	▲6.9	32.6	2.3	9,378	▲0.9	-	-	8,695	▲5.0	47.5	-
10月	719,365	11.8	26.3	▲2.9	585,590	▲4.5	32.3	1.7	11,007	17.4	-	-	8,599	▲1.1	44.6	-
11月	684,716	14.2	26.0	▲3.6	519,132	▲7.3	34.3	2.6	10,998	▲0.1	-	-	8,507	▲1.1	41.8	-
	宮城県						福島県									
	新規求人数(件)	前年同月比(%)	充足率(%)	前年同月差(ポイント)	新規求職数(件)	前年同月比(%)	就職率(%)	前年同月差(ポイント)	新規求人数(件)	前年同月比(%)	充足率(%)	前年同月差(ポイント)	新規求職数(件)	前年同月比(%)	就職率(%)	前年同月差(ポイント)
3月	9,772	▲17.7	25.2	▲17.8	11,410	▲32.0	21.6	▲8.6	8,156	▲16.8	36.2	▲8.7	10,703	▲26.4	28.3	▲2.6
4月	13,696	31.4	24.6	▲19.1	29,387	62.7	11.5	▲13.5	10,897	36.2	31.0	▲21.3	19,683	28.5	17.5	▲10.5
5月	14,088	58.3	31.7	▲9.9	20,996	48.9	21.8	▲4.2	10,433	33.0	39.0	▲5.4	14,462	28.8	29.4	▲2.7
6月	17,827	57.6	28.7	▲8.5	14,994	5.4	35.3	6.1	12,991	50.0	35.3	▲9.1	12,352	8.4	38.5	3.6
7月	18,759	62.9	26.4	▲10.0	12,101	▲6.1	41.7	9.7	12,732	44.5	31.2	▲7.7	9,981	▲5.4	42.0	8.7
8月	18,714	66.3	26.0	▲8.8	12,626	1.2	39.5	8.1	12,779	48.5	32.3	▲5.3	10,778	2.5	40.7	9.2
9月	19,870	59.3	25.3	▲8.7	12,266	▲10.7	41.1	9.7	13,837	43.6	30.8	▲8.1	10,342	▲8.0	43.0	9.0
10月	19,608	58.0	24.3	▲8.9	12,654	▲6.1	37.9	7.3	13,611	41.0	29.6	▲5.1	10,620	▲1.7	39.8	7.6
11月	18,936	50.4	23.3	▲8.4	10,979	▲11.2	39.8	7.2	13,982	69.5	26.9	▲12.5	9,697	▲3.1	40.6	7.1

〔注1〕岩手県の新規求人・新規求職数は季節調整値（他は基本的に原数値）。「-」は公表資料では把握できなかった。

〔注2〕充足率=充足数/新規求人数、就職率=就職件数/新規求職申込件数。

〔資料〕厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」、岩手労働局・宮城労働局・福島労働局の資料より作成。